

石丁場をさがす！

梶原 慎司(高松市埋蔵文化財センター)

1. 国・県・町指定の大坂城石垣石丁場跡の現況

①面的に広く石材が分布し、丁場の範囲が明らかになっている丁場跡

例) 天狗岩丁場、八人石丁場 (国指定史跡)

②点的に石材の分布を把握し、丁場の範囲が明らかになっていない丁場跡

例) 小瀬原丁場 (県指定史跡)、東谷丁場 (町指定史跡)

➡②の丁場跡について、分布範囲を把握することが目的

2. 小瀬原丁場跡の調査

矢穴型式の特徴 (森岡・藤川 2008) を参考に、Aタイプの矢穴や矢穴痕、刻印を探す

【調査方法】

① GPSを持参して、山の中を歩く (踏査)

② 空中ドローンによる調査

Q. もっと簡単に見つける方法はないの??

A. 踏査が最も確実かつ近道

例) 「大搜索ドキュメント! 屋久島 “伝説の超巨大杉”」

「搜索4年! 屋久島 “伝説の超巨大杉” 完全版」

【調査の成果】

① これまで明らかになっていた範囲 (No. 1~3) よりも分布が広がることがわかった

② 新たな刻印の発見 (特に尾根筋)

③ 近現代の丁場跡の発見

➡古い丁場跡の場所に新しい丁場が設定されるため、あったはずの古い丁場跡がなくなっている可能性がある

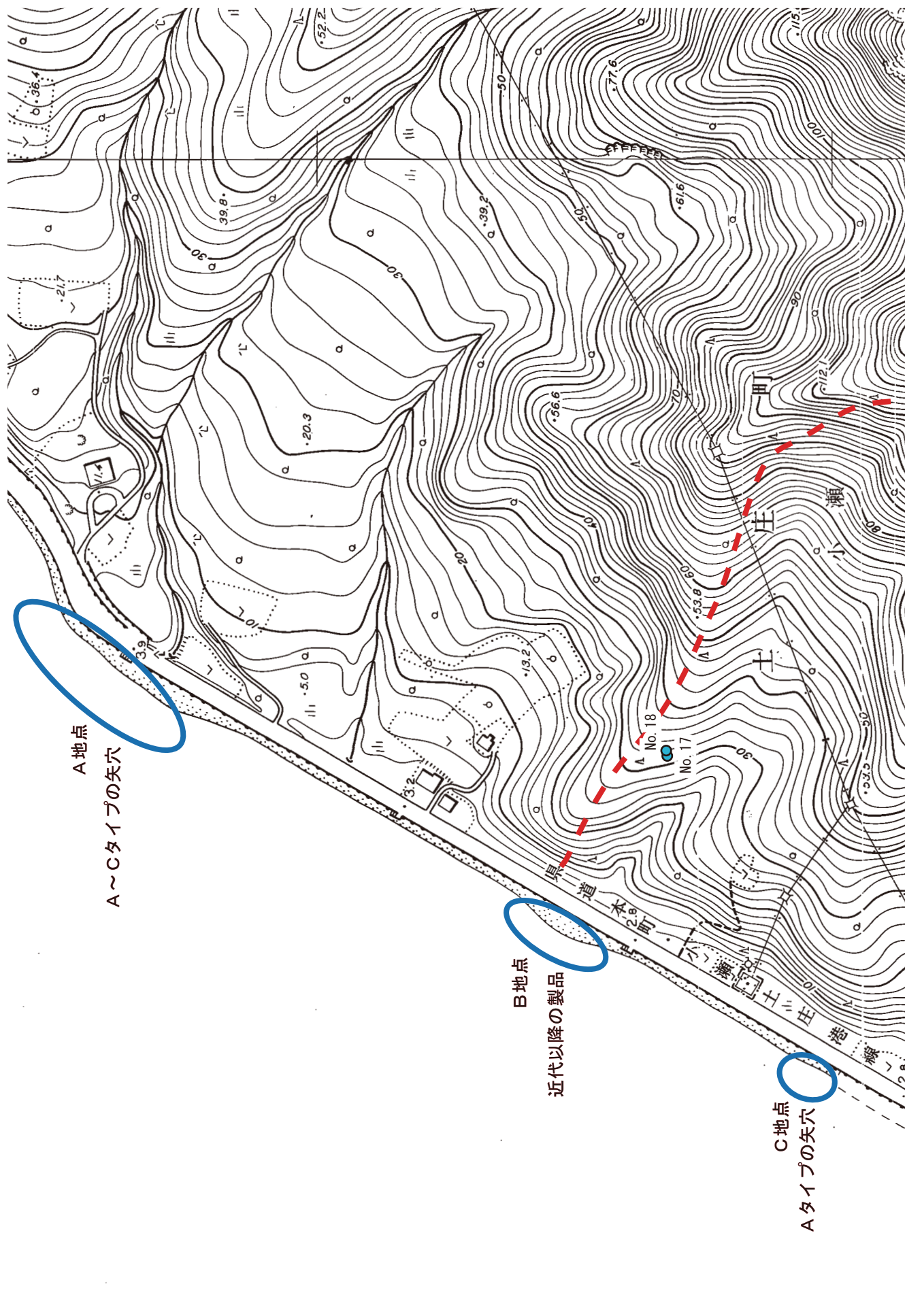
3. 今後の課題

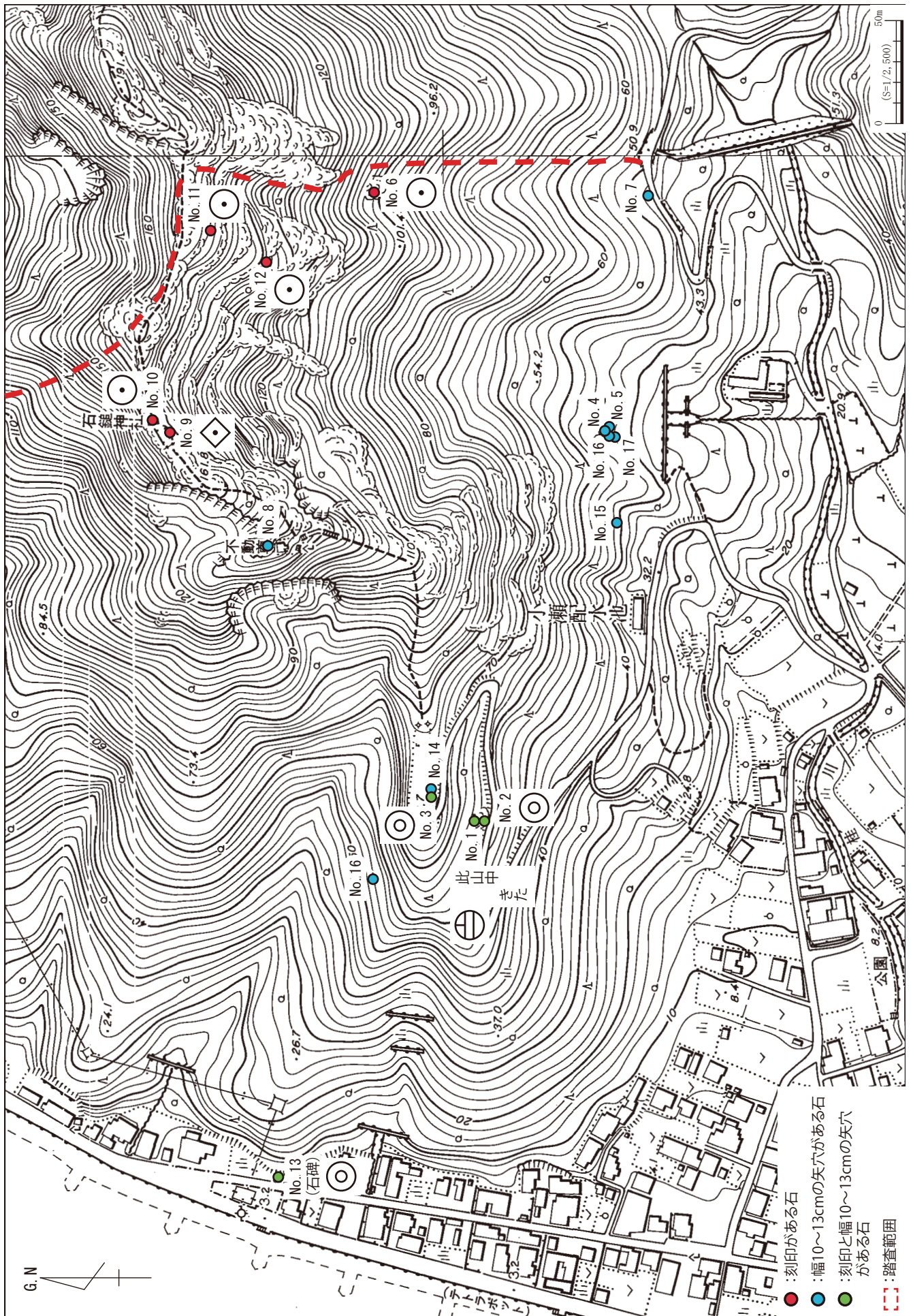
- ・ほかの加藤家丁場跡・藤堂家丁場跡の石丁場跡の分布範囲を明らかにする
- ・どのような場所を丁場とするのか、丁場設定の基準の有無
- ・丁場と搬出道の関係

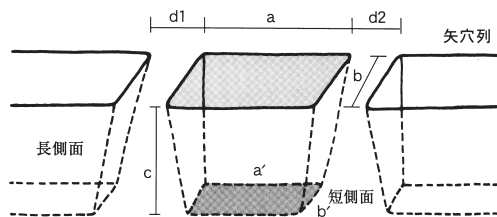
【参考文献】

森岡秀人・藤川祐作 2008 「矢穴の型式学」『古代学研究』第180号

芦屋市教育委員会編 2005 『岩ヶ平石切丁場跡』芦屋市文化財調査報告第60集, 芦屋市教育委員会







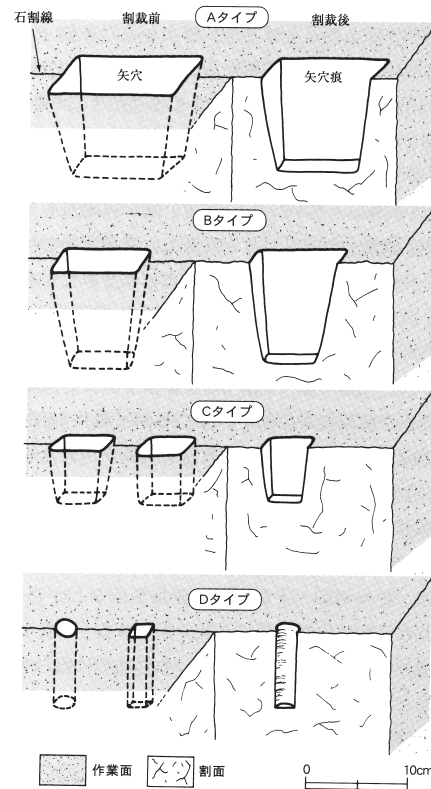
■ : 矢穴口 (矢口) ■ : 矢穴底 (矢底)

- a. 矢穴口長辺
b. 矢穴口短辺
c. 矢穴口から矢穴底までの深さ
d. 矢穴の間隔 (ピッチ)
- ※ 矢穴の基本形態は、第38図のAタイプをモデルにしている。
なお、a'・b'の矢穴底の法量は測っていない。

矢穴各部の名称と法量測定基準 (森岡・坂田編 2005)

- Aタイプ…元和・寛永期に広く普及した城郭石垣系の矢穴型式。
矢穴口長辺8~12cm、矢穴口短辺5cm前後、深さ6~10cmが一般的。
- Bタイプ…矢穴口長・短辺の法量はAタイプとCタイプの間中間的な様相を示す。
- Cタイプ…近世中頃以降、現代に至るまでみられる矢穴型式。
矢穴口長辺6cm未満、矢穴口短辺4~5cm、深さ6cm程度のもが多い。
- Dタイプ…近現代の小割りに用いられた矢穴。
平面は円形・方形と多様で機械によるものも含める。

矢穴型式の特徴 (森岡・藤川2008)



※ 矢穴の間隔 (d寸法) は任意であるが、基本的にDタイプに下がる程間隔比率が広くなり、同一ライン上での矢穴数 (穿孔率) は減少する。

矢穴の基本型式分類模式図 (森岡・坂田編 2005)



まると見放題パック

990円 (税込み) で見る

単品

220円 (税込み) で見る

本編: 49分 HD

視聴期間: 購入後72時間

購入期限: 2023年7月28日

この番組についてのご注意

【フルHD画質配信番組】▼PCではフルHD画質での視聴が可能です。Android端末でも、HD画質での視聴が可能です。▼画質選択ボタン「HD」はフルHD (PCのみ)、「高」は高画質、「中」は通常画質、「低」はスマホ向け画質となります。▼通信環境等により高画質でご覧いただけない場合があります。

大搜索ドキュメント! 屋久島“伝説の超巨大杉”

シリーズ 大搜索ドキュメント! 屋久島“伝説の超巨大杉”

★ お気に入り登録 シェアする ?

世界遺産・屋久島の象徴といえる樹齢2千年を超える縄文杉。だが、さらなる未発見の杉が存在するという『超巨大杉伝説』がひそかに語り継がれている。取材班は、最新科学を駆使し大搜索に挑んだ。まずは空からレーザーを発射。森をスキャンし、巨大杉のありかを示す“宝の地図”を完成させた。続いて地元山岳ガイドと搜索隊を結成。島・最奥部の秘境へと分け入っていく。次々出現する巨大杉。最後には驚くべき巨大杉が待っていた!

語り手 池松壮亮

2017年8月15日放送
(C)NHK

「大搜索ドキュメント! 屋久島“伝説の超巨大杉”」

「搜索4年! 屋久島“伝説の超巨大杉”完全版」

(NHK オンデマンド, <https://www.nhk-ondemand.jp/goods/G2017081376SA000/index.html?capid=TV60>)